

1) 鈴鹿山脈

ア 採録した呼び方

- ・ 鈴鹿山脈 ニシノヤマ（：西の山）、ニシヤマ（：西山）
- ・ 鈴鹿峠付近の山並み スズカサン（：鈴鹿さん）、スズカヤマ（：鈴鹿山）
- ・ その他 ヨコネ（：よこね）

イ 呼び方とその状況

鈴鹿山脈（一部の集落では布引山地を含む。）の呼び方としては、「ニシノヤマ」と「ニシヤマ」の計2種を採録した。

各集落から見て西側に位置し南北に連なる山並みであることから、郡内のほぼ全域で「ニシノヤマ」と呼ばれた。

また、鈴鹿峠付近の山並みが坂下地区から神辺地区付近にかけて「スズカヤマ」、「スズカサン」と呼ばれ、また、麓に位置し山並みが遠近で一望できる場所にある安坂山町坂本では「ヨコネ」がみられた。

それ以外は「ノノボリサン」、「ミョウジョウガタケ」、「ニュードウサン」等固有の山の呼び方で呼ばれ、山並み全体を表す呼び方はみられなかったが、そうした呼び方自体が「スズカヤマ」と同様に周囲の山並みを含めて表す呼び方としても使われていたようである。

なお、隣接地域として調査を行った山内地区（旧甲賀郡）では「スズカサン」を採録した。

ウ その他

三重県と滋賀県の境界となる山並みが、明治時代から大正時代にかけて「鈴鹿山脈」という名称に定められたようで、その名称が記載された最も古い地図とみられるのは、昭和5年発行の「新選詳図（帝国書院）」であり（国土地理院の地図では昭和21年発行図より明記）、また、三重県の統計文書上では昭和24年版の「三重県統計書」以降と新しい。



鈴鹿峠・三子山付近

